

大阪春の陣いざ出陣!

2015 春闘

大阪春闘共闘と大阪労連は1月5日、淀屋橋で2015春闘の勝利に向けた「1・5新春宣伝」を行いました。大阪市労組の中山直和副委員長は「くらしに憲法がいかされる社会をつくろう」と訴えました



2015春闘は、労働者や地域社会をないがしろにする政治の転換、すべての労働者の賃上げで地域から景気回復の実現をめざしていきます。同時に、戦後70年の節目となる今年、憲法をめぐる歴史的攻防の年となります。

大阪では、維新の会による住民サービス切り捨て、労働者・労働組合への権利侵害をすすめる強権政治に対し、憲法と地方自治がいかされるように、たたかいは職場から大きくしていくことが求められています。

「憲法を実行せよ」の声を高らかに、2015春闘を全力でたたかっていきます。



大阪自治労連2015年新春旗びらき(1月5日)。「笑う門には福来たる」…オープニングで笑福亭竹林さんの落語を

みんながいるから、「なんともかなる」(^^)

大東市職労で初めての女性委員長となった藤原由子さん。若い世代に組合の歴史や「組合ってこういうところ」と語り、バトンをつないでいくことが役割と、組合員と力を合わせ運動をすすめています。

大東市職労 執行委員長

藤原 由子さん
(保育士)



プロフィール

- ・大阪市出身
- ・2002年 大東市職労保育所支部書記長
- ・2007年 保育所支部執行委員長
この間、保育所支部の役員として上三箇保育所の民営化反対闘争を保護者とともに取り組む
- ・2011年 大東市職労書記長
- ・2014年 大東市職労委員長



団体交渉。前列右端が藤原さん

若い組合員が増え「バトンをつながなくては」

昨年、「もう今年で委員長が退職なのに次期委員長候補がいらない：どうしよう」と、執行部全員で悩みに悩みました。

大東市職労の組合員の大半が保育所現場の保育士(女性)で、私も保育士です。2年前、14年ぶりに保育士の採用があり、若い組合員が7人加入、そして今年3人と、なんと10人も組合員が増えました。

この若い人たちに組合の歴史や「組合ってこういうところ」と保育所の仲間たちが自分の言葉で語り、加入を勧めてくれたのです。

こんな仲間の思いや若い人たちが組合に入ってくれた思いを、本庁職場での役員も少なくなり、委員長のなり手がいないからと組合の灯火を消してはいけない、バトンをつなげていかなければ、みんながいるから私でも「なんとかなる」という気持ちで、大役を引き受けました。

団結でのりきった

2014秋季年末闘争

今年の執行部は採用2年目の若い



世代が2人、執行委員を引き受けてくれました。率直で新鮮な意見を言ってくれて、新しい風が吹いています。力強さを感じます。

初仕事は秋季年末闘争。はつきり言って賃金問題は、何度聞いても難しい。でも今回は執行委員会で学習もしました。前委員長の力強い支えと役員・組合員の団結で何とかなる事ができました。

今すぐ歴代の委員長のようにはできませんが、「要求で団結」することが一番大事だと思っています。いい仕事が出来たいと思っても、人員削減が続く仕事量は増え、体はきついわ…というんな問題があります。職場の要求を大事にした運動と、組合が今何をしているか見える活動を、組合員みんなの力をかりながらすすめていこうと思っています。